

I 吹田東高校の入試について

Q1 吹田東高校はどんな生徒を求めていますか？

A 吹田東高校のアドミッションポリシーは以下の通りです。

本校は、生徒の学習面と生活面の指導に重点を置いています。落ちついた環境のなかで、勉強・学校行事・部活動の3つをバランスよく実践することで、主体的に考え行動できる生徒の育成をめざし、希望する進路の実現につなげています。また、時間を守り、規律正しい生活を送ることも大切にしています。規範意識をもって学校生活を送り、自己実現のために可能性を追求する生徒を求めます。

- 1) 高い進路目標を持って主体的に学習に取り組み、進路実現に努める生徒
- 2) 中学校での学校行事（体育祭、文化祭、合唱コンクール、国際交流等）、生徒会活動、部活動や校外での活動に積極的に取り組んで一定の成果を上げ、高校入学後もさらに発展させる意欲のある生徒
- 3) ルールの意味を考えて行動し、規律正しい生活を送ることができる生徒

Q2 学力検査の成績と調査書との比率はどうなりますか？

A 倍率のタイプはⅡで、学力検査×1.2倍、調査書評定×0.8倍、学力検査540点、調査書360点、総合点900点です。

II 学習について

Q1 自習室はありますか？

A 本校一階の図書館横には、放課後に自習できる、ブース形式の自習室があります。新校舎になって、さらに、ゆったりとしたスペースになり、試験勉強や受験をする生徒から集中できると好評です。

Q2 「S講座」について聞かせてください。

A 外部講師(予備校講師)による特別講座のことです。3年生は4月～10月の土曜日に実施しています(2024年の開講科目は、英語、現代文、古文、数学、日本史、化学です)。

1・2年生は、週一回放課後に英語の講習があります。1、2年生は部活動との両立も可能です。難易度も本校生のために考慮され、費用は、PTAから補助を受けているので、予備校で受講するより経済的です。受講者数により変動しますが、これまでの実績として約15000円～25000円の受講料で年間11回～15回の講座を受講することができます。

Q3 リーダーシップ研修について聞かせてください。

A 1年生の「総合的な探究の時間」では企業・大学と連携した「リーダーシップ研修」を行っています。現代は、特定のリーダーにのみ「リーダーシップ」が求められる時代ではありません。ここで学んでいるリーダーシップは、「チームの目標達成のために他者に及ぼすプラスの影響力」のことであり、すべての高校生に身につけてほしい、全員発揮の21世紀型リーダーシップです。昨年度課外授業として実施していたものを、授業時間内に取り入れています。

受講した生徒からは、「リーダーシップはすべての人に必要な力だと分かった」、「自分には関係ないと思っていたけれど、自分にもリーダーシップがあることが分かった」といった声があがっています。

Q4 外部と連携した授業について聞かせてください。

A 2年生の「総合的な探究の時間」では、外部団体と連携した取り組みを行っています。令和6年度は5企業・2大学・2つのNPO・1市役所と、全部で10の外部団体と連携しました。講演をしていただいたり、生徒の発表に関してアドバイスをいただいたりしており、生徒たちにとっては社会で働く様々な業種の方と交流し意見交換をする良い機会となっています。

3年生の選択の保育の授業では近隣の幼稚園と連携した授業が行われています。手遊びを一緒に行ったり自作の本を送ったり、一緒に本校での芋掘り交流を行ったりしています。

同じく3年生の選択の音楽の授業でも、近隣のこども園の園児さんと一緒に合唱や合奏をする授業があります。

Q5 英語の授業について聞かせてください。

A 英語の1年生の一部の授業ではクラスを半分に分けて少人数で行っています。少人数の良さを生かしてネイティブスピーカーの先生との授業も定期的に行っています。令和4年から「観点別評価」が始まり、定期考査などのペーパーテストだけでなく「スピーキングテスト」や「プレゼンテーション」などのパフォーマンス課題による評価も大きな割合をしめます。令和4年度から1・2年生は3学期に英検を全員受検しています。1年生は準2級、2年生は2級に合格することを目標に、授業でも対策を立てていきます。

Q6 数学の授業について聞かせてください。

A 高校の授業は、中学校に比べ、難しく、進度も速くなります。数学の1年生の一部の数学の授業ではクラスを半分に分けて行っています。グループワークや机間指導の際に一人一人の状況を丁寧に見ることができるので、生徒たちからも好評です。受講したの1年生の声を紹介します。

「手が止まったら考え方を教えてくれるのが助かります。」

「迷ってそうやったら声かけてくれるのはとてもありがたい」

「一人一人ていねいに教えて回ってくれる」

この他、令和4年度から始まっている観点別評価においては、主体的に学びに取り組む姿勢が目されています。

Q7 文系と理系はいつ決めたらいいのでしょうか？

A 2年次に文系・理系の科目に分かれます。1年生の1学期に2年次の選択科目について希望調査を行い、その後の懇談を通して、秋に再度行う希望調査で決定します。3年次では文系・理系・文理系に分かれます。

Ⅲ 英語の研修について

Q1 海外の語学研修はありますか？

A オーストラリアの現地学校にて、英語の学習と国際交流をする語学研修を実施しています。国際感覚を養うとともに、ホームステイによって日本とは異なる文化を体験できます。令和6年度、7年度は、7月末～8月上旬にかけて9日間実施しました。また、令和8年3月には台湾への語学研修も実施予定です。現地に行けなくても台湾の高校と姉妹校提携しており、定期的にオンラインの交流を実施しています。令和6年度の春には、オーストラリアと台湾でお世話になっている高校が来校し、国際交流をしました。

IV クラブ活動について

Q1 クラブ活動は活発ですか？

A 30のクラブが活動し、約75%の生徒が加入しています。特に、運動部では、男子バレーボール部が令和6年度近畿大会出場、女子バレーボール部は、令和4年度公立高校大会優勝、近畿大会出場（過去6回）、その他にも過去に近畿大会に出場した経験がある部活がいくつかあります。また、美術部は、全国総合文化祭大阪府代表、近畿総合文化祭など、数々の美術展で優秀な成績をおさめています。その他のクラブも、それぞれの目標を掲げ、日々活発に活動しています。

V 生活指導について

Q1 生活指導について聞かせてください。

A 常に落ち着いた環境の中でこそ、勉強・クラブ活動・行事などに集中して取り組めると考えています。落ち着いた環境を保つため、特に、遅刻、服装、頭髪、携帯電話の使用方法などについてのルールを伝えています。

Q2 携帯電話についてどのように指導されていますか？

A 始業から終礼までは、特別に認められた時以外は、個人ロッカーに入れ、携帯電話の持ち込み・使用を禁止しています。休み時間に、友だちとコミュニケーションをとったり、スキマの時間を活用して勉強することが、これから必要な力の習慣につながっていきます。SNSをめぐる様々なトラブルは、社会的な問題にもなっています。マナーを守り、携帯電話の有効な使い方を身に付けることが必要と考えています。

Q3 制服について聞かせてください。

A 吹田東高等学校の制服はバリエーションが豊富です。カッターシャツの色は4種類、ネクタイ2通り、ジャケット1通り（男女別）、ベスト2通り、カーディガン2通り、女子はスカート、スラックスの中から組み合わせることができます。

また、本校には衣替えがありません。気候の変化に合わせて自由に着こなしを選べます。また、夏服・冬服の区別なく、寒いときにはカーディガンを着用して防寒ができます。制服については、きちんとした着こなしを指導しています。

さらに、令和7年度よりポロシャツを導入しました。

Ⅵ 学校行事について

Q1 どんな学校行事がありますか？

A 主な学校行事として、例年は、6月に青葉祭体育の部(体育祭)、9月に青葉祭文化の部(文化祭)が実施されます。合唱コンクールは、生徒主体の行事へと変わり、令和6年度は2年生の生徒中心に実施予定です。また、2月には、書道・美術選択者による校内展覧会(「二科展」)を行っています。2年生の2学期には修学旅行も実施されます。

Ⅶ 卒業生の進路先について

Q1 卒業生の進路先を具体的に聞かせてください。

A 2025年3月卒業生(49期生)の進路先の内訳は、四年制大学約85%、短期大学約1%、専門学校約10%、就職・公務員0%、進学準備など約1%です。

Q2 4年制大学はどのような大学に合格していますか？

A 2025年3月卒業生(49期生)の合格状況(延べ数)は、関西大学29名、立命館大学6名、京都産業大学34名、近畿大学39名、龍谷大学73名、大阪経済大学25名、他多数となっています。

Q3 国公立大学に進学する人はいますか？

A 昨年度は0名でしたが、例年、数名が国公立大学に進学しています。国公立大学は、共通テスト・2次試験を合わせて試験科目が多いのですが、日々の授業を大切にしながら全力を尽くし、試験科目を意識して最後まであきらめなければ、道は開けます。